

主な議案 9月 定例会

今回は、平成21年度決算の認定と刈谷市総合健康センター条例の制定についてなどです。
質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を要約して掲載します。

平成21年度決算を認定 一般会計・特別会計で30億円の歳入増

決算審査特別委員会
審査のあらまし
本会議での説明後、議員選出の監査委員（鈴木絹男議員）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。
さらに、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の4分科会を設置しました。
分科会では、監査委員に出席を求め、決算審査特別委員会委員が要望した決算資料などを加え、審査が行われました。
21日の決算審査特別委員会では、分科会での審査結果を踏まえ、委員会としての採決を行いました。
討論では、保育園の指定管理者制度は、削減された経費のし



代表監査委員による意見陳述

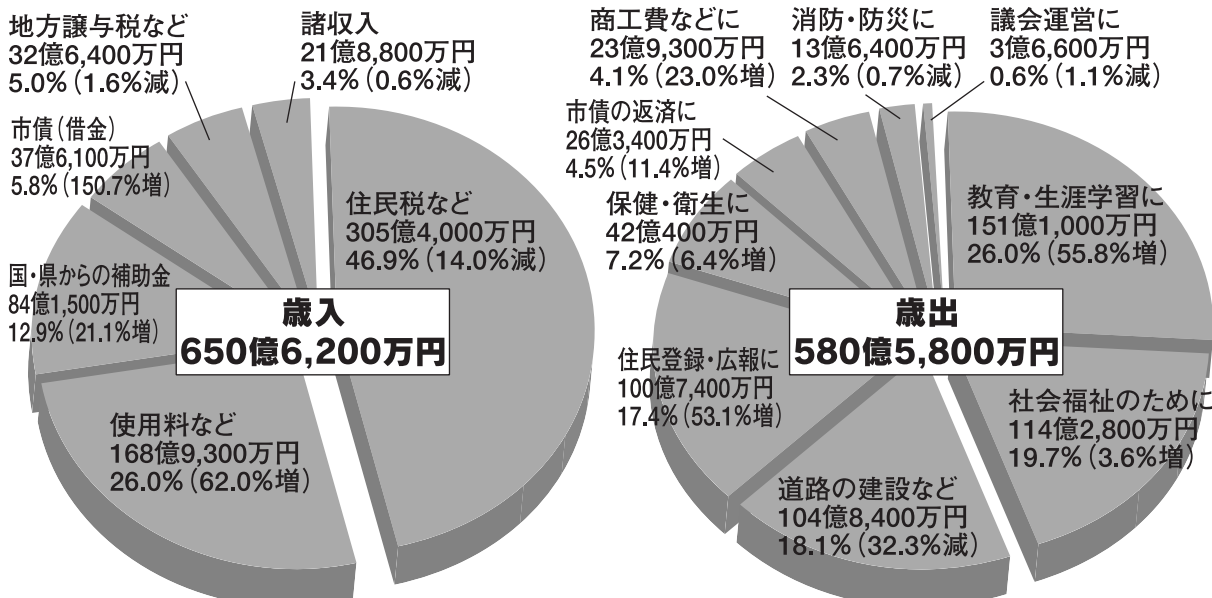
- 企画総務関係
監査委員の指摘事項、男女共同参画の取り組みの成果、説明責任と情報公開
- 福祉経済関係
児童虐待の対処法、幼稚園の預かり保育の内容と実施状況、障害者相談支援事業の体制及び相談内容、リサイクル率向上の理由、敬老金の支給方法、待機児童の解消対策、農道や排水路等の整備、脳ドックの受診希望者と実際の受診者数
- 建設水道関係
公園のトイレ清掃の実態、道路補修事業の実施方法、準用河川の除草作業の現状、耐震診断事業の実施状況と促進、市営住宅明渡し訴訟の弁護士費用
- 文教関係
各小中学校別学校図書館の整備、不登校児童生徒の実態、小中学校のインフラ整備

各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	650億6,200万円 (+8.6%)	580億5,800万円 (+8.8%)	70億400万円
特別会計 合計額	223億9,600万円 (▲8.8%)	206億5,400万円 (▲8.1%)	17億4,200万円
水道事業 会計	25億3,900万円 (▲4.7%)	25億1,900万円 (▲1.5%)	2,000万円
各会計の 合計額	899億9,700万円 (+3.3%)	812億3,100万円 (+3.7%)	

特別会計内訳	歳入	歳出
区画整理事業合計	8億5,800万円	4億7,500万円
下水道事業	51億7,700万円	47億5,500万円
国民健康保険	101億6,500万円	93億1,800万円
老人保健	3,500万円	3,100万円
後期高齢者医療	10億3,300万円	10億3,100万円
介護保険	51億2,700万円	50億4,300万円

一般会計の内訳(前決算年度対比)

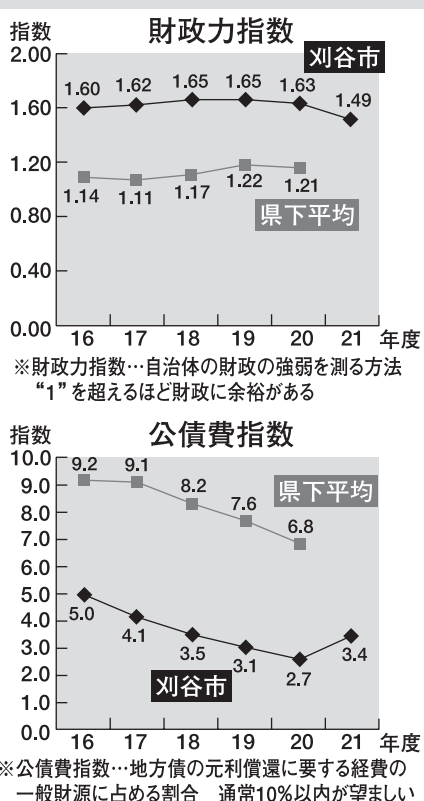


〈地方譲与税その他の内訳〉
 ・地方割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・地方消費税交付金
 ・自動車取得税交付金・地方特例交付金・地方交付税・交通安全特別交付金
 〈使用料その他の内訳〉
 ・手数料・分担金及び負担金・財産収入・寄付金・繰入金・繰越金

監査委員の意見(要旨)

加藤 敏 誠 男

Ⅱ 一般会計・特別会計Ⅱ
 本年度の決算状況は財政指標面からも良好なものと判断された。しかし、歳入においては、経済、雇用などの状況改善が進まなため市民税収入の見通しが不透明なこと、歳出においては、新たな施設の維持管理費の増加、さらには少子高齢化、格差、環境といった社会的課題への対応などから、厳しい局面を迎えることが予想される。他方では、公金の使途に対する説明責任や情報公開の観点から、どのような統制によって財務会計行為をはじめとする意思決定がなされているかを組織全体として意識し、職員個人もその組織の中での役割を果たすことが求められている。
 今後も健全財政を維持し、市民生活の向上を目指すべく社会的課題の解決に取り組む、より効率的で効果的な行政運営を大きな視点と細やかな気配りをもって図られ、市民が元気で幸せを実感できるまちづくりを推進するよう期待する。



財政状況を財政分析指標でみると、財政力指数は0.14ポイント低下し、公債費比率は0.7ポイント上昇したが、いずれの指標も、依然として財政運営上においては、良好な水準にあると認められた。
 また、特別会計においても設置趣旨に沿った運営が行われていると認められた。
 Ⅲ 水道会計Ⅲ
 本年度は738万5千円の純損失が発生したが、これまでの企業の営業活動によって獲得した利益の蓄積を示す利益剰余金は10億1,134万1千円となっており、純損失が経営状態を極度に悪化させるものではないと判断できる。
 また、貸借対照表から主要な経営指標をみると、財務状態の健全性を示す自己資本構成比率は前年度と同率であり、他機関からの資本依存度を示す固定負債構成比率は、企業債残高が減少したことにより0.4ポイント低下しており、良好な状態で推移している。
 水道水の需要が一次的に減少したことが赤字決算の大きな要因だが、これを機会に収益面において今後の需要動向を再度検証するとともに、費用面では将来を見据えた窓口業務の効率化や浄水及び配水施設の強化・更新、あるいは基幹管路の耐震化率向上といった課題に対する資金計画を見直し、安定した健全な経営を推進するよう期待する。
 今後も公営企業の経営理念である経済性を発揮し、安全で良質な水道水の安定供給に向けた事業促進に努められることを望む。

平成21年度に取り組んだ主な事業

やすらぎ…

安心と安全の確保されたまちづくり

- ・認知症高齢者グループホーム等のスプリンクラー整備工事費用の一部を補助し、消防設備の整備を図る 402万円
- ・幼児2人同乗用自転車の購入者に対して補助 399万円
- ・小高原、双葉、東刈谷小学校の敷地内に児童クラブを建設 1億6,497万円
- ・幼稚園児、保育園児の第3子以降保育料の無料化 1億6,410万円
- ・産婦健診を拡充し、各種母子健康診査を実施 1,388万円
- ・新生児、乳幼児、保護者に対する相談等の支援を拡充 2,238万円
- ・民間木造住宅を無料耐震診断するとともに、耐震改修費用、木造住宅及びブロック塀の撤去等の費用に補助 898万円
- ・水防法の改正、河川や排水路の整備状況の変化により、ハザードマップを更新 777万円
- ・登下校時の安全確保のため、全児童生徒に携帯用防犯ブザーを配布 777万円

いきがい…

活気と希望のあるまちづくり

- ・高度医療を駆使した外科手術に対応する施設整備を行う刈谷豊田総合病院へ補助 2億1,000万円
- ・平成22年度の竣工に向け保健センターの移転新築の建設に着手 1億6,729万円
- ・児童生徒が自然や科学技術にふれる機会や探求活動の充実、教材開発の拡大を図る 200万円
- ・老朽化した双葉小学校北舎、小垣江小学校体育館を改築 9億6,710万円
- ・第二学校給食センターの建替移転工事を実施 15億7,757万円



幼児2人同乗自転車

うるおい…

快適で魅力のあるまちづくり

- ・小規模な葬儀等に対応できる葬祭場の建物改修の基本・実施設計を実施 837万円
- ・低公害車を新車購入した市民・事業者に対して補助 1億416万円
- ・資源回収活動をする子ども会等の市民団体に報奨金を交付 2,049万円
- ・自治会が資源回収量増加を目的として設置する資源回収所の設置費に補助 436万円
- ・JR刈谷駅のホームへの階段の新設、改札口の拡張等の改修費用を負担 3億8,129万円
- ・電線類地中化により街路空間の整備を行う 1億2,141万円
- ・刈谷駅北口駅前広場の整備を行う 3億4,187万円
- ・亀城公園を城址公園的な桜の名所に再整備するため、実施設計・発掘調査を実施 2億8,748万円
- ・生垣設置、屋上・壁面緑化等の民有地緑化に補助 247万円
- ・刈谷駅南地区再開発による市街地の高度利用、都市機能の更新を図る 7億3,121万円

いそどり…

歴史と文化を大切にしたまちづくり

- ・交通児童遊園の遊具や施設など園内を整備 2億4,755万円
- ・依佐美送信所送信機器のIEEEマイルストーン認定に伴う記念行事の実施と、記念館の整備を行う 282万円
- ・刈谷にゆかりのある松本奎堂などを中心に、天誅組を紹介したDVDを作成 599万円
- ・子どもたちの幸せと命の尊さをテーマに活動した、いわさきちひろ展を開催 2,934万円
- ・独立行政法人都市再生機構が整備した総合文化センターを取得 56億7,929万円
- ・総合文化センターの開館に向け、市民ホール等の備品を購入 4億1,979万円

しんらい…

政策を支える改革

- ・ウイングアリーナ刈谷等の整備補修を実施 6,486万円
- ・第7次刈谷市総合計画の策定や自治基本条例の制定に向けた検討、審議を行う 700万円
- ・平成22年度の竣工に向け、新庁舎の建設を進める 29億2,598万円
- ・滞納処分により差し押えた財産をインターネット公売で換価し市税に充当 10万円



電線類が地中化されている万燈通り

水道事業のあらまし

項目	21年度	対前年度	
		増減数	増減率
総人口	145,245人	417人	0.3%
給水人口	144,954人	416人	0.3%
普及率	99.8%	0.0%	—
給水戸数	58,793戸	152戸	0.3%
配水量	18,582,633 m ³	▲458,401 m ³	▲2.4%
市水配水量	4,899,986 m ³	▲664,784 m ³	▲11.9%
県水配水量	13,682,647 m ³	206,383 m ³	1.5%
県水依存率	73.6%	2.8%	—
有収水量率	94.2%	▲1.4	—
1人当たり平均給水量	331リットル	▲14リットル	▲4.1%
1 m ³ 当たり給水収益	132.87円	▲0.99円	▲0.7%
1 m ³ 当たり給水費用	138.09円	6.12円	4.6%

議決結果一覧表

- ・平成21年度刈谷市一般会計継続費の精算について 了承
- ・公平委員会委員の選任について 同意
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任について 同意
- ・教育委員会委員の選任について 同意
- ・【企画総務委員会関係・1議案】刈谷市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について 可決
- ・【福祉経済委員会関係・4議案】刈谷市国民健康保険条例の一部改正について すべて可決
- ・刈谷市総合健康センター条例の制定について すべて可決
- ・刈谷市青葉福祉センター条例の廃止について すべて可決
- ・老人デイサービスセンターなのはな条例の一部改正について すべて可決
- ・【建設水道委員会関係・2議案】刈谷市地区計画の区域内における建築物制限条例等の一部改正について すべて可決
- ・指定管理者の指定について（洲原公園レクリエーション施設） 可決
- ・【文教委員会関係・1議案】指定管理者の指定について（刈谷市民休暇村） 可決
- ・【平成21年度決算関係・10議案】一般会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・刈谷半城土高須土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・老人保健特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・介護保険特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・水道事業会計決算認定について すべて可決
- ・【平成22年度補正予算関係7議案】一般会計補正予算（第2号） すべて可決
- ・下水道事業特別会計補正予算（第1号） すべて可決
- ・国民健康保険特別会計補正予算（第2号） すべて可決
- ・老人保健特別会計補正予算（第1号） すべて可決
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） すべて可決
- ・介護保険特別会計補正予算（第1号） すべて可決
- ・水道事業会計補正予算（第1号） すべて可決
- ・【議長発議 1件】議員の派遣について 可決